

令和7年度 埼玉県高等学校ソフトテニス東部支部大会

男子個人 令和7年8月18日(月) 彩の国くまがやドーム

女子個人 令和7年8月19日(火) 彩の国くまがやドーム

【競技上の注意】

1. 競 技

- (1) 本大会は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準拠し、また顧問総会資料の申し合わせに従って全て7ゲームマッチで行う。
- (2) プレーヤー、審判とも公認の正しい服装でコートに出場する。ゼッケンは必ず四隅を留める。
- (3) 大会使用球は、男子「赤エム」・女子「KENKO」とする。
- (4) マッチ開始前練習は1分以内とする。練習終了後はベンチに戻らず、速やかにマッチを開始する。

2. 進 行

- (1) 進行表に従って行う。ベンチは番号の小さいペアが通路側を使用する。
次の対戦のペアはマッチを行うコート付近で待機する。
マッチの進行状況によりコート変更の場合があるので、選手・審判は放送に注意する。
- (2) 棄権や選手変更の連絡は本部前に掲示するので、各ペアで確認をする。
- (3) 勝者のペアはマッチ終了後、速やかに採点票を本部へ提出する。

【確認】競技規則 第44条[解説17]

そのマッチへ出場の通告を受けたプレーヤーがコートに出場しない場合、アンパイヤーがコートに到着後、5分経過で警告1回とし、3回を持って失格とする(15分経過で失格)。なお、警告を受けたプレーヤーが失格する前(警告2回まで)に出場した場合は、それまでに与えられた警告はそのマッチ中有効となる。

3. 審 判

- (1) 審判を行う際は、公認審判員徽章を左胸に着用する。コールの聲が届かないと思われる場合は、サインを伴って判定する。
- (2) 各コート第1試合は進行表に記載されたペアが審判を行う。第2試合以降は、原則として敗者審判とする。
- (3) 審判は採点票の選手名を確認して対戦を始める。
- (4) マッチ終了後は勝敗及びスコアの確認をし、勝者に勝者サイン欄にサインさせ採点票を渡す。

4. そ の 他

- (1) すべての引率責任者及び外部指導者・部活動指導員は、会場内では必ずIDカードを着用する。
- (2) ベンチコーチを許可する。また引率責任者はマッチの円滑な進行及び選手の健康に配慮する観点から、マッチを行っているコート付近で観察することが望ましい。また、応援は、1～8コートは2階から、9～16コートはスタンド側からとする。
- (3) 部旗等の掲揚は許可された場所のみとする。
- (4) 会場内では原則右側通行とし、ボールを使った練習はしない。
- (5) 会場内での指定された場所でのみ、持ち込みテントの設営を許可する。
- (6) 貴重品の管理には十分注意する。またゴミは必ず持ち帰る。
- (7) 水分補給・休養等しっかり取って体調管理に留意し、また十分な感染症対策及び熱中症対策を講じる。体調不良者が出た場合は、速やかに本部へ連絡する。

《彩の国くまがやドーム会場での注意事項》

- (1) くまがやドームの施設利用について、試合をする選手を除いて1コートから8コートの通路は大会運営上の理由から、通行できない。ただし、ビデオ係等の生徒は、その通路から撮影を行う。
- (2) くまがやドームのコートについて、ネットの下部のパイプはネットの一部と見なす。また、ネットポストの下の支えとなる足はネットの一部とは見なさないなので、判定の際に注意する。